

令和5年度第3回南相馬市小高区地域協議会 会議録

- 1 日 時：令和5年6月30日（金）
午後2時00分～午後3時30分
2 場 所：浮舟文化会館 研修室

【出席委員名 10名】

会 長	林 勝典	委 員	小牛田 一男
副会長	阿部 貞康	委 員	末 芳治
委 員	末永 義人	委 員	杉 重典
委 員	小林 友子	委 員	西山 喜代子
委 員	堀内 洋伯	委 員	志賀 由紀夫

【欠席委員 5名】

委 員	半谷 善弘	委 員	渡辺 静子
委 員	本田 博信	委 員	飯塚 宏
委 員	半谷 恵美子		

●南相馬市職員

小高区役所長	佐々木 忠
小高区地域振興課長	佐藤 克巳
小高区市民総合サービス課長	高野 真至
小高区地域振興課庶務担当係長	安部 良一
小高区地域振興課主事	森 和紀（書記）
南相馬市教育委員会学校教育課教育企画担当課長	熊坂 真利
南相馬市教育委員会学校教育課教育企画担当係長	坂下 拓也
南相馬市教育委員会学校教育課教育企画係主査	松嶋 一憲
こども未来部次長	志賀 俊一
こども未来部こども育成課幼児育成係長	原 郁恵
こども未来部こども育成課幼児育成係主査	佐藤由美子

1.開 会

事務局

只今より令和5年度第3回小高区地域協議会を開催いたします。本日の会議の成立要件につきまして、事務局より報告を申し上げます。

本日の欠席委員は、半谷 善弘委員、渡辺 静子委員、本田 博信委員、飯塚 宏委員、半谷 恵美子委員です。地域協議会委員15名中、10名の出席ということで、過半数を超えております。協議書10(2)により、本日の会議は成立しております。初めに、林会長からご挨拶をお願いいたします。

2.会長あいさつ

小高区地域協議会 林会長よりあいさつ

3.議 事

事務局

議事の進行については、規定により、会長が会議の議長となります。林会長、よろしくをお願いいたします。

(1) 議事録署名人の指名

林会長

それでは、次第により議事を進めてまいります。

はじめに、会議録署名人の指名ですが、会議録署名人は、阿部 貞康委員、末永 義人 委員の2名にお願いします。

報告事項

報告事項①

鹿島小学校・八沢小学校再編計画（素案）に係るパブリックコメント手続きの実施について

それでは、報告事項①の「鹿島小学校・八沢小学校再編計画（素案）に係るパブリックコメント手続きの実施について」を議題といたします。担当課より説明をお願いします。

学校教育課 資料1により説明

林会長

それでは、只今の説明について質問があれば、お願いいたします。

○末委員

原町三小では、トイレ一器あたり 11.7 人ということで、鹿島小より若干多いんですけど、一器あたりの平均人数や妥当な人数を教えてください。また、スクールバスの運行経路見直し並びに継続や、通学路の整備とあるんですけど、遠くなる方も何人かいると思うんですけどどのような形で整備するのでしょうか。

○学校教育課教育企画係長

便器一器あたりの児童数に設ける基準というものは、実はどこにもない状態です。今、鹿島小学校のほうに、現状で、トイレの数はあっても、和便器が残っておりまして、今の子供たちはなかなか和便器でトイレをするのは難しいような状況です。このあたりをどのようにしていくか、トイレそのものを増やすとなりますと、そのスペースとか施設の構造上の課題もありますので、課題等を整理した上で整備を進めてまいります。

八沢地区だけがバスなどの公共交通機関がないエリアになっておりまして、合併前、旧鹿島町の時代から、旧南柚木分校地域においてスクールバスの運行を行っているという状況になっております。今回の統合に当たりまして、通学手段の確保というのは大きな要望でありますので、保護者の皆様の意見を聞きながら、このスクールバスをはじめとした交通アクセスの確保については統合に向けて検討していくというようなことで考えているところでございます。

○末委員

和便器があるって言いましたけど、この南相馬市内の小中学校で、まだそういう学校はほかにあるんですか。

○学校教育課教育企画係長

正確な数字までは把握しておりませんが、概ね洋式化事業を進めましたので、洋式化はされているところですが、ただ一部残っているところもあると思います。ただ鹿島小の場合はもともとトイレの数が少ないという現状があったので、あえて和便器も残しています。現在、一つのトイレのスペースに、洋式トイレが一つと、和式トイレが二つあるような状況になっております。これをもし洋式トイレを二つする場合、洋式トイレをもう一つ追加した場合、洋式トイレ二つにしないでいけなくて、三つあるものが二つになるっていう状況がありまして、課題になっているというところでございます。ちょっと全体的に残っているところもありますが、概ね洋式化は、実施したという状況でございます。

○末委員

他の学校に和便器があるって言いましたけど、今現在で各家庭でも、和便器を使ってるっていう家庭は、これも分からないけれど99.9%ないと思うんですよ。和便器については経費の部分もあるんだと思うけども市の予算から、出すべきだと思います。

○学校教育課教育企画係長

委員のおっしゃるとおりでございますので、検討していく上で対応していきたいと思います。

○志賀委員

読んでて、何か残尿感が残るっていうのが印象的にあります。今のトイレの話について、1ページのところも、課題は認識してるけども、不足している状況ですと。校舎についても新しく、耐震性もあり問題ない。そのあとどうするのかというの、何か読み取れてしまいます。すごくその辺は読んで、今のトイレについても5番に書いてありますけど、よく読み手のことを考えながらやったらいいのになと思います。統合するにあたって、校章はどうするんだとか、そういう問題はあります。お金かかる部分もあります。校歌については、鹿島小学校にしますって言ってますけど、特にそこは異論なかったんですか。

○学校教育課教育企画係長

再編計画の内容につきましては、決定すべき事項についてまとめさせていただきながら、今後整理検討すべき事項ということで、6点の項目を令和6年4月の統合までに、ある程度の検討をして目途をつけていくという意味合いで、載せさせていただいたものでございます。言葉足らずのところはあろうかと思いますが、一応そのようなイメージで作成をしたところでございます。

校歌の件でございます。統合準備協議会の中で、八沢小学校それから鹿島小学校のPTAの方々、地域の代表の方々、区長さん方と集まってお話をさせていただいた中で、まず学校名については、鹿島区の名前を冠した、小学校、基幹校という位置づけなので、鹿島小学校にしましょうということになりました。校歌についてはどうしましょうかということで、我々のほうとしても校歌を変えるというのもイメージはしていたところでありますが、長く、鹿島小学校で歌われてきた校歌なので、校歌もこのまま継続しましょうという統合準備協議会の中で結論に至ったというような現状でございます。

○志賀委員

異論はなかったということですか。

○学校教育課教育企画係長

はい、異論はありませんでした。

○志賀委員

全体を通して残尿感が残るっていうかね、消化不良だっていう印象は受けました。以上です。

○堀内委員

「再編」という言葉と「統合」という言葉が混在してるんですけども、これは特に問題なかったのかということですかね。小高区は意見書として再編をしますという形で、結論に至った経過があります。今回は統合すべきという内容で上がってるんですけども、学校の名前とかそういうのも、なるべく校歌とか、お金をかけないように、しましようということ、小高のほうもいろいろ検討はしてました。制服運動着の取り扱いと購入費助成の方法ということで、八沢小学校から鹿島小学校に入った転入児童への助成はいつごろまで行うのか、一度に行うのか、継続的に行うのかなどその辺をちょっとはつきりしてもらいたいです。

○学校教育課教育企画係長

「再編」と「統合」と、言葉の問題についてはこの記載内容について統合準備協議会のほうで、お話をさせていただいて、お諮りした上での内容となっておりますので特段の異論はなかったというところでございます。

それから、運動着制服の購入費助成の方法については、こちらに記載しております通り、今後の検討課題というふうになっておりまして、制服については鹿島小学校の制服を使用するとなっております。ただ一方で運動着の部分に関しては、八沢小学校から、鹿島小学校に行く子は、少ない人数でいくということになりますので、やはり学校の一体化というところも含めまして、運動着については変えてもいいんじゃないかという結論になりました。運動着については、50年近く変わっていないものでして、暑さ対策であるとか、素材の面であるとか、あとは例えば透けるのが気になるんじゃないかとか、いろいろご意見がありました。そういった中で、運動着を見直す方向で検討しようという話になったところです。購入費の助成につきましては検討の中で、今、個別検討部会を立ち上げながら、どのように変えるか、どこまで変えるか、どのように助成方法も含めて運営していくか教育委員会のほうと、準備協議会の皆様、保護者の皆様とご相談させていただいて進めていくというところです。

○阿部委員

まず何点か聞きたいんですが、そもそも先ほど志賀委員から話があったように、検討します、検討しますが再編計画にあって検討結果は、地域の人にはもちろん説明するんでしょうけども、8月に再編計画を策定して、6年度の4月に統合するというのであれば、何カ月もない訳です。再編計画素案の中の7ページのところに新潟大学の教員による特別講義ってありますよね。地域学校協働本部ってありますよね。これは組織として今あるのか。放課後児童クラブについて、意見書のほうにありましたけれども、放課後児童クラブの場所が学校から離れる場合には、どうするのか。あとは跡地の利活用の検討。用途として廃止して普通財産になるわけですから、そのあとでもいいんでしょうけども、地域の要望を聞くとすれば、それは教育委員会で聞くわけですか。鹿島小学校と八沢小学校が統合するとすれば、今、本日の資料にもありますけど、令和11年、上真野小学校はどのぐらいの児童の推移になっているのか、それを教えてほしいなと。

○学校教育課教育企画係長

令和6年4月の八沢小学校と鹿島小学校の統合につきましては、この協議を進めていく中で、時期についても、どういった時期がいいかというところでお話をしていく中で、できるだけ早いほうがいいだろうというような検討会の中での結論に至りました。そのため令和6年4月ということになったところが大きな理由があります。お質しのとおり、非常に時間がない中で、今進めているという状況がございます。そういった状況もあって今再編計画が不十分というようなご指摘かと思えます。

南相馬市出身の新潟大学で名誉教授になられてる先生がいらっしゃるしまして、その先生が震災後に、さまざまな支援を南相馬市にいただきました。その縁がありまして新潟大学の教授の先生方に、南相馬市で特別講義を小中学校でやっていただいているという状況があります。例えば小高ですと、去年は中学校で小高の沿岸部に行きまして、津波の痕跡を探すということで、土を取って、その地層から何年ぐらい前に津波が来たというようなものを研究の一環も含めながら、特別講義をやっていただきました。こういったことで今、市教育委員会と新潟大学のほうで連携協定を結んでいただいております。さまざまな特別講義を小中学校で実施させていただいておりますので、これをまた鹿島区でも、引き続き実施していくというものでございます。

それから地域学校協働本部でございます。地域学校協働本部につきましては鹿島区ですと、上真野小学校に地域学校協働本部のほうをつくって、活動しているところでございます。これは鹿島区には限らない部分がございますけれども、今後コミュニティースクールも含めまして、さまざま取り組んでいかなくてはいけないというのを課題として持っておりますので、地域学校協働本部、生涯学習課の所管になりますけれども、連携して取り組んで参ります。

跡地利用についてです。用途廃止によって、教育委員会の所管ではなくなるということになりますので、市としてその跡地、閉校になった後の八沢小学校の跡地についてどのように利活用を図っていくか検討していくというようなことになると思います。

上真野小学校の児童数についてです。令和5年現在で58人の児童がいます。令和11年度まで今生まれてる子供の現状見ますと、令和11年度で50人、という状況で一時的に令和6年、令和7年と56人、61人、令和8年に63人とちょっと増えますが、令和11年度には50人という状況で多少減っていますが、横ばいで推移していくような状況になっております。八沢小学校と鹿島小学校の再編統合に合わせまして、鹿島地区、上真野地区の皆様とも保護者懇談会等は開催をさせていただいております。この、八沢地区の八沢小と鹿島小の統合についても昨年の2月にもご説明をさせていただいたところでございます。将来的に、鹿島区1校で行ってはどうかというような考え方は市のほうでも持っておりますので、引き続き、鹿島小学校と統合に向けた、取り組みを進めていくというところでございます。1点どうしても上真野小学校のある上真野地区から現鹿島小学校まで非常に距離が遠い問題があります。1番遠いところで、13キロぐらい距離があるというところになります。

それともう1点、児童クラブでございます。児童クラブにつきましては鹿島小学校について、鹿島小学校のところに鹿島児童クラブがありまして、今はそこだけではなかなか飲めなくてですね、鹿島区の大東銀行さんの向かいの「けやき児童クラブ」というところで民間にお願いしている児童クラブの計二つで今鹿島小学校の放課後児童クラブを運営しております。八沢小学校は八沢小学校の西側にサントリーグループから寄附いただいた、児童クラブがありましてそちらを運用しているというところでございます。市では、待機児童のないようにというような考え方でございますので、場所も含めて、今後の見込みになるというところも、こども家庭課のほうで見立てておりまして、それらを飲み込めるようにどういうふうにやっていくかというのは検討しているところでございます。そういった事情もありますので、場所が離れる場合には例えば鹿島小学校から八沢の児童クラブや今のけやき児童クラブなど移動する際には、当然その送迎手段も考えながら進めていくというような考え方でいるところでございます。以上です。

○阿部委員

それぞれ必要だということだと思えます。地域もそれを望んでいるということだと思えますけれども、あまりにも時間がちょっと足りなさ過ぎると私は思います。協働本部、コミュニティースクールをやるのであれば、南相馬市でモデル的にどこかをやった上で、やっぱり全校に広めていくのがいいと思います。それって随分かかってますよね。上真野小学校でやってるという話ですけども、

それがどのような内容でやっているのかちょっとわかりません。でも、もう少し、市が主導をとって、跡地はいいとして、八沢と上真野のスクールバスについて、どうせ運行するのであれば、それも一緒にやってしまえばよかったなと思います。50人だったら今の八沢小と同じなんですよね。また、同じようなことを繰り返すようになるんじゃないかと思います。そのときに、鹿島区で1校に小学校するというときに、また新たに小学校をつくりますって言うんでしょう。段階を追っていったならいいと思いますけど、今回だって鹿島小学校をある程度改修するわけですから、二度手間になっていくのかなという気はします。早く進めてください。

○林会長

何をとっても期限をきちっとある程度入れていって、いつまでに、どこで何を協議するんだっていうことをもっと明確になってればよかったかなというふうに思いました。

それ以外に皆さんから質問ございますでしょうか。それでは以上で、報告事項①を終わります。

報告事項②

南相馬市幼稚園条例の一部改正（素案）に係るパブリックコメント手続の実施について

○林会長

それでは、報告事項②の「南相馬市幼稚園条例の一部改正（素案）に係るパブリックコメント手続の実施について」を議題といたします。担当課より説明をお願いします。

こども育成課 資料2により説明

○林会長

それでは、只今の説明について質問があれば、お願いいたします。

○堀内委員

今原町で開園してる幼稚園を教えてください。

○こども育成課長

今原町で開園している幼稚園は、高平幼稚園と大甕幼稚園になっております。

○堀内委員

高平と大甕が開園になっているんですけども、現在太田と石神第一、石神第二幼稚園はやってないっていうことで、これについても、いずれ原町でもその学校の再編とかそういうのを、話が上がってくると思うんですがそのときに、改正するというところでよろしいですか。

○こども育成課長

堀内委員のおっしゃるとおりになると思います。以前、太田など休園している幼稚園について廃止しようという話はありませんでしたが、なかなか地元の方と協議が整わない部分などもありまして、それで、一度取りやめてる経過があります。そういったものを含めまして整理しながら地元の方とよく話をしながら進めたいと思います。

○堀内委員

ある程度今後の予定としてそういった見直しを図るとか表記を入れた方がいいと思います。

○こども育成課長

ありがとうございます。今回につきましては具体的になってるところについて進めていく形で、八沢幼稚園を挙げさせていただいております。今後に当たっては今のご意見を参考にしながら進めて参ります。

○林会長

それ以外に皆さんから質問はございますでしょうか。それでは以上で、報告事項②を終わります。

5. その他

○林会長

5. その他に移ります。

その他①

次回会議開催について

○林会長

それでは、その他(1)「次回会議開催について」を議題といたします。
事務局よりお願いします。

○事務局

事務局より、「次回会議開催について」ご連絡いたします。

次回は7月18日（火）午後2時から、小高交流センター多目的室にて開催いたします。

通知等は後日郵送いたします。よろしく願いいたします。

○林会長

それ以外に、皆さんから何かございますでしょうか。

○事務局

事務局「小高区地域協議会視察研修について」、「委員提言について」、「高校生による小高区での実践事業について」ご説明いたします。

事務局より説明

○小林委員

昨日の午後2時頃、小高産業技術の女子生徒に電車がいないんですと声をかけられました。交通手段っていうのが、電車しかない子たちがいっぱいいるわけで、まして乗り降り400人の小高から乗るの午後1時の後に午後4時なんですよ。南にはとりあえず午後1時の次が午後3時だったかな、2時間ぐらいいでも3時間から4時間というのは、交通機関として、何とかならないのかなっていうことをやっぱり協議会としてちょっと議会のほうなり市のほうになり上げてほしいなと思います。

○林会長

前から言ってるように今の駅前の小高駅全体、それから今のやっぱりその通学通勤、通勤っていうのはほとんどいないと思うんですけど、通学に使っている子供たちの数からしてもね、やはり今の、運行計画ではちょっと問題があるよと。

○小林委員

南は午前9時、いわきに行くのは午前9時の次お昼の12時なんですよね。12時の次、午後2時なんですよ。次が午後4時なんですよ。それで、今度原町に行くのにね、午前10時の次、午後1時なんですよ。午後1時の次は午後4時半なんですよ、これ。この状況は、やっぱり黙認はできないんじゃないかなと思ってるんで、ぜひとも、試験中ということで、一つ乗り遅

れたらもう、アウトなんですよね。だからその辺をもうちょっと、考えてほしいと思います。

○林会長

帰って本当は自宅に戻って勉強したいんだけどそれができない。無駄な時間をすごしてしまうということになるのかなと思われるし、一応、今回協議会としての提言が出てないんじゃないかということから、今回ここに提言の場をつくったという格好で、皆さんのお手元に配ったので、遠慮なく出してください。

○西山委員

今の件についてなんですけど、ただ意見を言っても通らないので、署名活動するとか、あとは小高産業技術高校の保護者からPTAとして、きちんと署名を出していただいて、学校側として困るということをしっかり言ってもらわないと、すぐ潰されちゃうと思うんですね。

あとはテストっていうのは年に5回くらいだと思うんですけど、そのとき特別にバスを出すとか、きっと乗る人が少ないから結局ダイヤが今のように組まれてると思います。震災後バスで送り迎えしていただいてましたよね。小高産業技術高校と駅前と、急遽バスを出してもらうとか年に5回だけ。そういうことを具体的にやっぱり言っていくべきだと思います。

○林会長

やっぱり、県立高校だから、当時県で出してたお金なんだろうけど、県はどっから持ってきた分かんないけれども。

○末委員

今皆さんも分かる通り、市街地とかかなり草が伸びていて、例年だと、市道は行政区で刈り取ってるんですけど、大きな道路は業者がやる場所。今年は全然刈ってないんですよ。下旬ころから始まっているんですけど、だれに聞いてもやってるっていうところないんですよ。なぜなのか。早急に土木課に言ってください。

○林会長

市道もそう県道もそうなんですけど、県道はあちこち刈り始まったのかな。

○末委員

県道は行政区で請け負っているというところもあったからやってるところもあるけど、何か市道、特に自分たちでやらない大きな道路は全然刈ってないんですよ。

○小高区役所長

場所も含めて確認をしながら、所管する土木課のほうも含めて、お話をし、今後どのようにするのも含めて、報告をさせていただきたいというふうに思います。

○林会長

業者が逼迫してるんだと思います。

○末委員

それはわかっているけれども、そうであれば区長などを通して、今年は遅れますとか、何とか、話によっては行政区でできませんとか方法はいろいろあると思う。話も何もなくて刈らないで、こちらのほうで野馬追までに刈るのかなと待っているようではいけないと思います。

ボランティアで私が刈ったところもありますが、地域と行政の、何か連携出来てないんだよなと思います。何かいい方法はないかなと思う。

○林会長

7月14日の午後6時半からなのですが、小高伝道所で市議会議員6名の方と、懇談会というか話し合いをやります。ただ、狭いからみんな来たって入れるかわからないけど。20人以上は入れます。

他にありませんか。なければ事務局にお返しします。

6. 閉 会

○事務局

以上をもちまして、令和5年度第3回南相馬市小高区地域協議会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

令和5年度第3回小高区地域協議会会議録

小高区地域協議会長 林 勝典

会議録署名人 阿部 貞康

会議録署名人 末永 義人

